



| CONTENTS       |    |
|----------------|----|
| 実行委員長よりあいさつ    | 1  |
| 青春回顧           | 2  |
| 会長および校長あいさつ    | 5  |
| 各支部総会報告        | 6  |
| 卒業50周年を迎えて     | 8  |
| 後輩からの一言        | 9  |
| 合格だ！優勝だ！       | 10 |
| お知らせ           | 11 |
| 会員寄付金の寄付者一覧    | 12 |
| 役員一覧、物故者、一般寄付金 | 13 |
| 会計報告           | 14 |
| 事務局通信          | 16 |
| 発行▶令和2年7月1日    |    |
| 発行所▶黄城会        |    |
| 発行人▶外尾 美好      |    |
| 印刷▶(株)音成印刷     |    |



# 『ever green 黄城の地で育まれた大楠を誇りに』 支えていただいたすべての人々に感謝



2020年度総会実行委員会

実行委員長 **梶原 泰宏**  
(高校47回)

令和2年5月3日(日)、2020年度黄城会総会が、小城高校体育館で行われるはずでした。しかし、私たち47期生は雨が降りしきる小城高校内に傘をさし、当日参加者の対応をしていました。47期生、誰もが思ったはずです。「こんなはずじゃなかった…。」

昨年の2019年度黄城会総会、次期当番回期として登壇し、決意の挨拶を行った際、先輩方から多くの拍手と激励をいただき、総会を必ず成功させる事を誓い合いました。

その後、5月からチラシ、会員券のデザイン作成、スローガンの検討に取り掛かり、2020年度黄城会総会の準備がスタートしました。スローガンは、『ever green

黄城の地で育まれた大楠を誇りに』。ever greenとは、和訳すると『常緑』を意味します。つまり小城高校のシンボルである『大楠』をイメージし、黄城会会員の皆様がいつまでも若々しく、元気に総会に参加してほしい、そういう願いを込めました。そして、各支部の総会では、先輩方から、「必ず行

くよ。」「頑張ってるね。」と、多数の激励を受け、全国各地の黄城会の絆を改めて感じました。2月にすべての支部総会が終わり、佐賀新聞への広告掲載の準備も順調に進み、総会の準備は着々と進んできました。

雲行きが怪しくなったのは、3月に入ってから、新型コロナウイルス感染の流行が全国に広がり、「総会を開くことができるのか」、47期生でも心配の声があがってきました。47期生で総会の開催の可否について、何回も議論しました。「当番回期として、総会を開催する責任がある。」「卒業50周年をお祝いしてあげたい。」一方、「もし、コロナ感染者が出たらどうする。」様々な意見が飛び交いました。最終的には、黄城会の役員の方と協議し、4月18日の理事会・評議員会で、総会中止と決定されました。47期生のみなで、総会の成功に向け、約1年間必死に頑張ってきた、ほぼ準備も完了していた中で、中止、みんなのこれまでの頑張りと苦勞、そして卒業50周年を迎

える22期生の方々をお祝いできなかったことを思うと、なんともいえない悔しさが残りました。そのような思いを抱えていた際、5月9日の佐賀新聞朝刊に、先輩から、私たちに対してのお礼の投稿が掲載されていました。その投稿を読んだときに、少し報われたような気持ちになりました。私たち47期生は、総会を開催することができませんでしたが、48期生の皆様には2021年度総会を開催し、黄城会の伝統を次の世代に引き継いでほしいと思います。総会の成功を祈念します。

最後に、総会が中止されたにもかかわらず、会員券を購入、ご寄付いただいた方々、佐賀新聞の広告の掲載にご協力いただいた方々、本当にありがとうございました。そして、47期生のみんな、1年間お疲れ様でした。総会は開催できなかったけど、みんなで準備に取り組んだこの一年、決して忘れる事はないでしょう。本当にありがとう。

# 受験番号1番

白石元秀（高校7回・唐津市在住）

40年前の総会当番後、7回卒の同期会は「七黄会」と名付けられた。その後毎年総会当日に小城町で催す七黄会の時自己紹介があると、私は「1番で合格した白石です」と言った。意味を知るものはニヤリとするし、初めて聞くものは「なに？」という顔をする。「あいつそんなに成績がよかった？」という気持だろう。同期で一番成績がよかったと噂されたのは、唐島正治君（現姓齊藤）だからだ。ご本人は否定なさっているが、周りは皆そう思っている。私は成績1番で入ったとは言っていない。それをよく知っているのが、現在黄城会理事をしている佐々木昇三君で、「お前はチビで一番北側の列の一番前に座とったろうが。俺もその列やったけん入試の日からよう覚えとったぞ」と私に言う。そう、私は受験番号が1番で合格したのだ。後に親友となる佐々木君が入試の日に、同じ列で私の後ろの方に座っていたなど、その時は知る由もなかった。ちなみに成績1番と目された齊藤正治君は、東大から警察庁、ドイツ大使館一等書記官、宮内庁総務課長などを歴任、「卒後50年」の祝いでは我々7回生の代表として挨拶をして頂いた。東京在住で現在は「渋谷再開発協会会長」の重責を担っておられる。

昭和27年3月高校入試の日、姉に付き添われ冷たい小雨の中、初めて小城高校の門を潜った。愛媛県新居浜市の中学校から受験した私に友人はひとりも居なかった。既に新居浜西高に合格していたが、定年過ぎた父の仕事のため2月に東多久に転居、改めて小城高校を受験した。願書を出すのが最も早かったらしく、受験番号は1番になっていた。

午前中にあった国、社、理、数の出来は最悪。昼飯を食べる気力も食

欲も無かった。しかし午後の美、保体、音、職家で持ち直しどうにか合格した。試験科目が現在の主要5科目なら当然落ちていた。途中監督の先生が「君かね、アライハマから来た生徒は？」と声を掛けてきた。（え、この言葉はなに？）と一瞬戸惑ったが、新居浜の読み方を間違えたと気付いて、「はい、ニイハマからです」と答えた。この先生、社会科ではないな、と思ったのは、四国で有名な工業都市を知らなかったからだ。丸い眼鏡をかけて、顎のしゃくれたこの先生は、やはり国語科で田久保先生（渾名は花王石鯨）と後で分かった。

随分後に耳に入ったことだが、高校第1回から第6回まで受験番号1番の生徒は毎回落ちていたらしく、「今年の1番はどうなるかな？」と職員室で話題になっていたらしい。

入学後の授業は数学が辛かった。ネコさんの渾名で知られた中村先生の授業は、「…そこで、白石、この先はどうなる？」説明の中でいきなり指名される。学年で最もチビで、列の一番後ろにいるのによく当てられた。正答できる場面はあまりなく、声変わりもしていないので返事の度に女子に聞かれるのが恥ずかしい。劣等感のかたまりのまま6月下旬の中間テスト（この年は高校でも2期制だった）になったが、数学は30点未満。ついていけないと思い詰めて母に「学校やめようかな」と言うと、「あ、家もお金ないからいいよ」とまさかの言葉で返答に窮したが、結局（折角合格したんだからもう少し頑張る）ことにした。

夏休みに中学校の教科書から復習を始めて8月末には高校の教科書に追いつき、以後数学は得意科目になって、授業中ネコさんに指名されることは気にしないで過ごせた。

夏には声変わりして劣等感は消え、9月からは友人もできて学校生活は楽しくなっていた。この年10月、音楽の授業のあとに秋山清子先生から「あんた、音楽部にはいんしゃい！」と声がかかり、それからコーラスとの縁が出来た。

昨年の総会資料には6回卒の声楽家下野昇さんが寄稿なさっていたが、この有名な先輩と2年近く一緒に同じ部活で練習出来たのは、ひそかな自慢の一つである。

下野さんと同級で、ピアノの名手であった原田吉雄さんの思い出がある。原田さんは3年生の秋に、西日本学生音楽コンクールで1位になった。冬休み前に新聞社が取材にきて、記事に必要な原田さんの写真を撮りたいという。その時彼は音大受験の講習会に出かけていた。今と違って講習会は休みの理由にならない時代、本人不在は問題となる。秋山先生が取った苦肉の策が「白石君、あんた身代わりばせんね。背丈は変わらんけんピアノ弾くふりだけしとけば、後姿なら分らんよ」。数日後、佐々木君が言った。「白石、お前の写真新聞で見たぞ」「えっ！ なんて分かった？」「原田さんならもっと痩せとる、横顔で分かるくさ」秋山先生が新聞社に、大丈夫か問い合わせたら、「分かるのは一部の人だからいいんです」



原田さんの身代わり写真（新聞掲載）

との返事。みんなのどかな時代であった。

待望のグランドピアノが音楽室に入ったのは11月頃。「ピアノ開き」には原田さんの伴奏で秋山先生が「九十九里浜」を歌われた。ピアノの購入金額は445,930円。今の貨幣価値では1千万超の金額である。昭和28年にこの地域でそれだけの寄付が集まったと言うのは、やはり文化を大切にする気風が小城に根付いていた証である。現在は体育館の舞台袖に置いてあり、体育館行事でまだ活躍しているこのピアノ、裏蓋に寄付者の名前が100人ほど書いてある。新しいピアノの塗装に傷をつけることだったから秋山先生は猛反対なされたが、寄付を集めた学校上層部の意

向には逆らえなかった。67年前に小城高校に来た歴史を物語るこのピアノを、これからも大切にしたいと願う。

高1の時数学で泣いた私だが、結局数学の教師になった。退職するまでの間に一度だけ、團伊玖磨作品を歌う機会があった。1975年(昭和50年)に行われた九州沖縄芸術祭の演奏会。團伊玖磨さんの指揮、臨時編制の合唱団に入り唐津と鹿島で合唱組曲「筑後川」などを演奏した。以後は仕事の為コーラスから遠ざかったが、退職後2005年に再び「筑後川」を歌うきっかけができ、その後各地で「筑後川」を歌っている。今は二つの合唱団に所属、そのうちの唐津市民合

唱団では團伊玖磨の合唱組曲「唐津」を歌い継いでいる。

昭和61年から事務局長として黄城会唐津支部に関わり、平成18年からは支部長も13年務めた。同期の七黄会のお世話をし、古希、喜寿、傘寿の集まりが開催できた。入学時一人も友人が居なかった私だが、協力してくれる友人に恵まれて幸せである。

「コーラスと友人」、小城高校の学び舎で授かったものは大きい。同期のメンバーは既に25%近くが鬼籍に入った。元気なうちはコーラスに精を出し、5月3日には友人と旧交を温めたい。これが受験番号1番だった私のささやかな念いである。

## 青春回顧

### 『肴』

やまきたさとみ (高校37回・小城市在住)

激務真っ只中の年度末!「うちの回期から原稿出ないって!2人で話してみよ」と電話が!→2人って…はいはい!もう1人と私ですよ?→もう1人に電話する→お断りされる→報告する。何故か私がするから資料と1週間欲しいと言ってしまふ。→47期に連絡する。→PCの前で頭を悩ますことになる。

10年前、黄城会総会当番で一番最初に黄城教育会館に集まった時。何の集まりで声がかかったのか気付いてなかったと言うか、実行委員会も饅頭会の事も何も知らなかったと言うのが正直なところ。確か各クラスから数人出して、そこから役割決めて…何故か会計を担当することに。振り返ると、最初の集まりから2年間位実行委員の役を務め、総会直前は週末だけに限らず、平日夜の作業もありました。また、関東・関西・福岡各支部総会に出かけた事も…若さも人脈もモチベーションも…

よくやったな!凄いな!だからあの年齢が当番だと今頃になって妙に納得しました。その後、大変だった記憶はすっかり薄れ、黄城会の活動を通して再会した、すっかり皺と白髪混じりのおじちゃんとおばちゃんになった旧友達と集まり飲むお酒が美味しくて楽しい!これが「青春回顧」の一時です。

私の高校時代…当時の4階建ての校舎は一番東側から階段、教室が5つ、階段、トイレ、西端にぼつんと教室が1つの並びでした。新入生の私は1年6ホーム。4階のぼつんと1つの教室でした。2年6ホームも3階のこの場所。3年3ホームも2階のこの場所。3年間1階ずつ下に降りてずっとぼつんと1つのこの場所。3年間ずっと同じ景色を眺めたおかげで進級の緊張感は少なかったような気がします。(そう言えば小城高って、何故クラスの事をホームって言うのだろう?)

部活は弓道。入学当時弓道部は存在せず、唐津から赴任された江口敏國先生のお声掛けで集まった女子10名で弓道の活動が始まりました。そう今の弓道部の起源はここです。勿論公式の部活ではなく、愛好会として次のstepの同好会を目指すことになりました。先生が共同で使う道具を準備してくれ、弓を引く練習に医療用のゴムを代用し、的を置く畳を調達し、練習は小城公園の人気のない場所を転々と彷徨って、最終的には野球とサッカーグラウンドの間を抜けたプール裏の草むらに落ち着いたような気がします。週末は、佐賀市内の佐大附属小近くの弓道場に自転車で通っていました。中学生の時に超体育会系部活にどっぷりと浸っていた私にとって、良くも悪くも先輩がいない、伝統がない、全員初心者の仲良しグループのような緩い雰囲気は、別世界で新鮮さもあり居心地の良い活動でした。

そう言えば弓道部「でも」マネージャー的な立ち位置だったような…「でも」と言うのは、中学の部活も、黄城会の実行委員もそうだったかもしれない。社会人となっても事務職ではあるけれども、最初の所属先も異動後の現在の部署でも、部活のマネージャー的な何でも屋のお世話係的な立ち位置。私には1軍選手にはなれない程度の力が備わり、縁の下の力持ち的な機能が備わっているのかもしれない。自らその立ち位置を選んできた訳ではないのだけれども、たぶん見えない糸がそこに導いてくれているのかもしれない。今頃そんなことに気づいてしまいました。

高校3年生。将来の夢（希望の職業）がなかった私は自分の進路を決められず、理系が好き（文系が苦手）という理由だけでやって来たそれま

でとは違い、いい加減に進学か就職かだけでも決めないといけない状況になり、何となく周りに流され公務員系を受験することになりました。自分なりに問題集も模試もそれなりにやったはずなのに…1勝3敗。唯一の1勝も採用が決まらず、とりあえず短大をkeepして卒業しました。短大入学と同時に現職の採用面接が舞込み、あつという間に採用決定となりました。すでに短大生になっていた私ですが、親も高校3年の担任の先生にも揃って学校やめて就職なさい！と言われ、キラキラ輝くはずの花の女子大生は1週間で終わってしまいました。

男女雇用機会均等法が制定された1985年、こんな感じで何となく就職したはずなのに、今も同じ職場で現役を続けています。しかも、きっと

誰かの役に立っているはずと勝手なPRIDEまで抱くほどになりました。昨年の春、この職場と一緒に実行委員をやった友人の息子が就職してきました。嬉しい縁を感じました。

個人的な、とりとめのない文章になってしまいましたが、良い事も、悪い事も、振り返ると全てが「酒の肴」のようです。集まればまた「同じ肴」を美味しいと笑いながらつまめてしまう。その楽しい一時をくださった皆様ありがとうございます。そしてこれからも一緒に楽しい「肴」を味わえますように、お付き合いのほどよろしくお祈りします。

最後になりますが、小城高校および黄城会の益々の発展と皆様のご活躍ご健勝をお祈り致します。

## 青春回顧

# 青春回顧

栗原史和（高校57回・小城市在住）

卒業して16年が経過した。同級生のみんなはどう過ごしているだろうか。最近はSNSが普及したことで、以前よりは近況も把握しやすくなったのかもしれないが、それでも卒業して疎遠になってしまった友人も少なくない。仕事に家庭に、日々の生活に追われて高校時代を振り返る機会もほとんどなくなってしまったように思う。

今回、光栄にも青春回顧ということでご依頼をいただいたので、せっかくの機会に高校時代を振り返ってみたいと思う。なお、回顧するに当たって、若干の思い出補正があるかもしれないが、何卒ご容赦いただきたい。

高校時代の数多くの思い出から一つだけ挙げるとすればやはり体育祭である。当時は、生徒の出身地域ご

とに東西南北の4つに部を分け体育祭を行っていた。私が所属していたのは、北部で主に小城中学校区を出身とする部である。体育祭では、3年生から十数名と2年生から若干名を「応援リーダー」として選出するというものがあった。これまでの学生生活でそうしたことには全く無縁だったのだが、2年生時にどういうわけかリーダーとして選出されてしまったのである。しかし、これがきっかけで多くの先輩方と関わることができ、随分と可愛がってもらったことを覚えている。

それから3年生へと進級し、また体育祭の季節が巡ってくるわけだが、部の団長は2年生時にリーダーをした者の中から選出されるという慣例のおかげで、なんと団長になってしまった。早朝から晩まで、時には熱く議論を交わしながら練習した

ことが思い出される。頼りない団長だっただろうが、多くの友人が支えてくれたおかげでなんとか最後までやり遂げることができたのではないかと思う。

さて、その体育祭のプログラムの中頃に各部が互いの健闘を称えるために、エール交換をする場面がある。北部では団長の掛け声で各部にエールを送るというものだったが、ここで当時の熱い気持ちを思い出し、地元に残った者はもとより、全国各地、はたまた世界で頑張る友人にエールを送って終わりたい。

「フー！フー！黄城～～～!!!」





## ごあいさつ

黄城会会長  
外尾 美好

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、黄城会総会が縮小開催（案）から、開催中止になるなど混乱の中でのスタートでした。

直前になって総会中止を余儀なくされた47回期の梶原泰宏実行委員長を中心とする実行委員会は、この1年間の努力が報われず言葉にできないほどの無念さがありました。この1年間の努力を48回期の実行委員会にしっかり引き継いでいただいて、来年の総会では2年分の力を発揮していただきたいと存じます。また、卒業50周年のお祝いを楽しみにされていましたが22回期の皆さまにおかれては、龍登園での同窓会も取り止めになり、大変残念なことであったと拝察いたします。

私事ではありますが、4月の理事会で突然に会長推薦をいただき、評

議員会で会長に選任していただきましたものの、新三役の構想もないまま突然放り出された感じで、会長という重責を果たせるか案じております。

私は、平成25年度から事務局長を務めていました。以来、毎週火曜日の午後に岩松会長と打ち合わせをしてまいりました。「会費のコンビニ振り込み」や「会員寄付金」の導入、黄城会の将来に関わる相談や情報交換。特に話題がないときは世間話をしていました。特に思い出されるのは、平成28年度の黄城教育会館の外部補修工事（屋根瓦、軒先、雨樋、外壁補修ほか）です。岩松会長は、学校側の要望を優先されて空調設備の更新を強く望まれましたが、限られた資金のため建物の補修を優先させてもらいました。工事費約800万円のうち200万円は翌年度まで支払いを待っていただきました。

昨年度は、4月に青木繁の絵画「朝

日」が佐賀県重要文化財に登録され、7月には黄城教育会館の空調設備を更新することができました。8月21日に岩松会長が2年間の闘病の末に亡くなりましたが、存命中に新会長を選任できなかったことは誠に残念でした。本会のために会長として10年間真摯にお務めいただいた岩松会長のご冥福を心からお祈りいたします。

黄城会会則では、「会員相互の親睦を図り、同時に佐賀県立小城高等学校の発展に寄与することを目的とする。」と定めてあります。黄城会活動の課題は、「活動の要となる会費の納入向上を図ること」「若い会員の協力を得て黄城会活動の活性化を図ること」と考えておりますが、昨今の社会状況にあっては決して易しいことではありません。なんとか会員の皆さまとともに努めてまいりたいと存じますのでご協力をよろしく願います。



## 母校だより ご挨拶と近況報告

校長  
平川 聡

令和2年4月1日付けの人事異動により本校に着任しました校長の平川聡と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

前任の永田校長先生を始め、歴代の校長先生方は、優れた業績を残された方々ばかりでしたので、その後任を務めなくてはならないということになって、たいへん身の引き締まる思いと共に、自分がその任に堪えられるだろうかという不安を抱えて着任したところでした。

しかし、いざ始まってみると、生徒諸君はとて素直で礼儀正しく、教職員も有能で熱意溢れる人がとても多くて、私の不安もだいぶ軽減されました。加えて、歴代の校長先生によって、教育目標や学校経営計画、ランドデザイン等の整備がほぼ完璧になされていたため、私に託され

た使命は、整えられたシステムが順調に稼働しているかどうかしっかり見極め、必要が生じた場合は微調整や軌道修正を行う、ということではないかと了解しているところです。

一方で、日々の教育活動ということになると、ご承知のとおり、昨年度末から続く、新型コロナウイルス感染予防のための休校措置という、前代未聞の対応に追われています。生徒やその家族の命を守るため、或いは地域の医療崩壊を防ぐためとはいえ、本来学校が果たすべき機能を停止し、生徒に自宅での学習や体力維持を指示することしかできないという現状は、学校の職員として、もどかしくも情けなくもあります。特に、3年生は、高校の最終学年を、不完全燃焼のような状態で過ごさなくてはなりません。一刻も早く新型コロナが終息し、生徒の歓声が響き渡るいつもの学校に戻ることを願っています。

さて、新型コロナ感染予防対応に追われる中でも、私が新任校長として取り組まねばと考えているのは、小城高校や地元小城についての色々な豆知識や情報などを、生徒に語るレベルでよく理解し身に付けることです。先日は、手始めに校長室にあった『60年志』や『100周年記念誌』等を手に取り、ばらばらと拾い読みをしてみました。草創期の様子や校訓（創意、挑戦、誠実）選定前後のこと、「黄城」の由来に係る諸説についての記載等を見つけ、しばし読み入りました。まだまだ生徒に語れるほどの、よく消化された知識とはなっていませんが、やがてどこかの機会に、生徒が小城高校生であることを誇れるエピソードや小城という郷土に愛着を深めるような情報等を、私自身の言葉で伝えることができたらと考えています。

# 支部総会報告

## 令和元年度



### 関東支部

8月25日 KKRホテル東京 174名

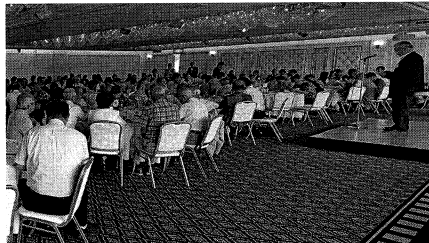
関東支部総会は、夏空に映える緑豊かな皇居を眼下に、遠くには大手町のビル群を眺める会場で開催することができました。

第1部では、川副事務局長の司会のもと、本村支部長挨拶・役員紹介、小城高校永田校長・黄城会七田副会長・中京支部梅谷副支部長さまによる来賓挨拶。村上副支部長から活動報告、光石幹事長から会計報告・新年度予算案、林監事からの監査報告で総会を終了。

引き続き第2部黄城の集いに。39回卒の江頭・47回卒の山口さんの司会・進行のもと、開宴・乾杯へ。音頭は最長老高女20回卒の伊藤栄さまに。その元氣なお姿に刺激を受け一気に盛り上がりつつあったのが今でも目に浮かぶ。そして、上京者の紹介。昨年度本部総会実行委員会の46回卒・今年度担当の47回卒の紹介と報告等で郷土への思いをつのらせたところ。今回はイベントをひかえ、同期及びその前後の回期での懇談に十分な時間を割けるよう座席を工夫したことで皆さんの懇親が深まったと思います。そのような中でも、江頭さんの演歌、生部さんのハーモニカ演奏は効果的で花を添えていただきました。

宴もたけなわではありませんが予定した時間はあっという間に過ぎ、校歌斉唱、井手副支部長による閉会のことばで次回の再会を期してお開きとさせていただきます。

(関東支部支部長 高校17回 本村 清人)



にありがたいものです。「いかに楽しく、そして次回も来ていただける総会であるか」を最大のテーマとして掲げる中京支部総会としては皆様方のお力添えを頂き、最高の支部総会となりましたことを心よりお礼申し上げます。

この原稿を書いているのが3月29日、まさに新型コロナの渦中にあります。各催しや集会が続々と延期や中止になっている中、中京支部も今後の役員会や活動方法を模索している最中です。役員会自体が行える状況にない中、本年度の総会が開催出来るのか検討しているところですが、役員のみならず支部会員みんなで一丸となり、何とか今後へ繋げて行きたいと思っています。

(中京支部事務局長 高校40回 堤 淳)



### 関西支部

9月15日 大阪産業創造館 37名

井手副会長、永田校長、中嶋中京副支部長、また大勢の実行委員のご出席を頂きました。1部総会は同館会議室にて行い、来賓の方々から故郷や小城高の話伺いました。創立120周年の喜ばしい記念年ではありましたが、8月の佐賀県の浸水被害については出席者より義援金が寄せられるなど故郷に思いを馳せるひとときでした。事務局からは活動報告、会計報告のあと、役員改選が発議され、深川支部長(17回)、南里副支部長(20回)、岡本副支部長(27回)、内田事務局長(20回)、森山事務局次長会計(31回)古賀会計監査(31回)の新体制が発足しました。

2部懇親会は同館「にんにん」で、歌や故郷クイズを楽しみました。旧交を温める場になればと歓談の時間をたっぷりとしています。関西在住4名の来期実行委員の参加あり、令和2年度総会も大いに期待が持て「来年また会いましょう」でお開きになりました。

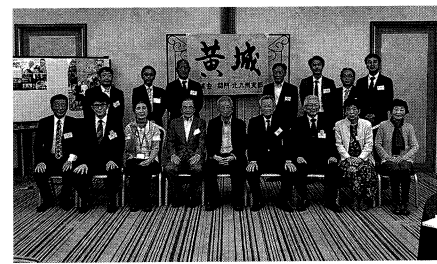
(関西支部事務局長 高校20回 内田 敏博)



や寂しい状況ではありません。ただ、何年かぶりに初参加者(52回生)にもお越し頂きました。今回も生徒さん達の校歌演奏・歌声(CD)でご参加者をお出迎えしました。私、山口からの開始挨拶の後、外尾様より「黄城会に対しての日頃のご協力に感謝致します」との御礼を頂き、また、創立120周年記念式典挙行の様子を御紹介頂きました。永田校長様からも創立120周年記念式典取り組み内容について伺いする事ができました。また、学校の様子に加えて、大学進学に関して県内において非常に高い評価を得、話題となっているとの御紹介も頂きました。校長先生を始めとして先生方々のご指導と生徒さん達の頑張りの賜物と思います。この事は私達卒業生にとって嬉しい限りです。引き続き、本年当番回期原口様より本年総会を無事終わらせる事が出来た事へのお礼ご挨拶、来年総会担当の梶原様より盛会に向け、47回生が一致団結し、準備に取りかかっている様子のご紹介がございました。議事(山口からの本年度支部運営報告および今後の運営等)と滞りなく終了致しました。

2部での懇親会は野中栄三様(3回生)の乾杯ご発声で開宴しました。少人数ではありましたが毎年参加して頂いている方がほとんどで、和気あいあいの中、楽しいひと時を過ごす事ができました。他支部の方々との近況報告、各回期当番の方々との交流に加え、恒例となっております原田京子様(20回生)ご指導でのリハビリ体操実演では大いに盛り上がりました。年々、バージョンアップする体操は皆さん始まる前から楽しみにしておりました。それから集合写真撮影、全員での校歌斉唱の運びとなりました。今回の校歌斉唱では2回生の大江智朗様ご発案によりラグビーワールドカップで大活躍した日本代表の名言となりました「ONE TEAM」を意識し、参加者全員で手を携えながら、輪を作っての斉唱となりました。最後には全員で母校・関門北九州支部の益々の発展並びに、参加者皆様の益々のご健康を祈念し、南川様の音頭のもと、万歳三唱にて閉会しました。

(関門・北九州支部支部長 高校29回 山口 孝美)



### 中京支部

9月14日 CLOCHE BLANC 38名

第24回となる今回の黄城会中京支部総会は数年来お世話になっていました金山・焼き鳥とりべゑさんに代わり、今回は名古屋駅近くの「CLOCHE BLANC(クロッシュブラン)」さんで初めての開催と致しました。今回は38名と前年よりかなり多くのご参加を頂きました。

クロッシュブランさんはイタリアンレストランで店内の広めのパーティールームをお貸し頂き、元々ながく利用させて頂いていました名鉄ニューグランドホテルさん、その後しばらく開催していた焼き鳥とりべゑさんの中間くらいのかたすぎず、またくだけすぎでもない雰囲気、料理も洋食を中心に美味しい内容でこれまでの会場と同じようにとても良い雰囲気の中で開催することが出来ました。

さて、中京支部総会では井手黄城会副会長や永田小城校長をはじめご来賓の方々に地元佐賀や小城高校の近況報告または関東・関西各支部の状況などをお話しして頂き、その楽しくまた興味あるお話に出席者のみなさん全員が聞き入っていました。

離れている上に、中にはここ数年帰佐出来ない会員の方も多数いらっしゃるの故郷や各黄城会支部の詳しい近況を伺えるのは本当

### 関門・北九州支部

11月10日 リーガロイヤルホテル小倉 17名

総勢17名(内支部員8名)にて開催致しました。

今回、支部員の方は所用・体調面にてこれまでご出席頂いていた方のご都合がつかずや

### 福岡支部

10月12日 天神スカイホール 108名

開催日の1週間前に台風が発生し、開催が危ぶまれましたが、皆様の願いが通じて無事開催することができました。

当日は天候にも恵まれ、スムーズな開場となりました。総会の部では、来賓の黄城会本部川副副会長、黄城会顧問永田校長よりご祝辞を頂戴しました。福岡支部南川支部長の挨拶、古賀幹事長の支部近況報告、辻監査役の収支報告、監査報告がおこなわれました。

同窓会では毎年の恒例となってきましたが、博多弁ラジオ体操で体をほぐされ、福岡支部伊東顧問の乾杯で談笑がスタートしまし

た。余興では、元校長で現在多久市郷土資料館館長の藤井様より120周年を記念した特別講演を賜り、また、フラダンスやビンゴゲームが行われ会場は盛り上がりました。旧中、高女の校歌斉唱もあり、改めて歴史の長さを体感した一日となりました。

最後に校歌斉唱、万歳三唱が行われ、会場の同級生・同窓生の絆を更に深められました。(福岡支部総会実行委員長

高校46回 鶴 和紀)

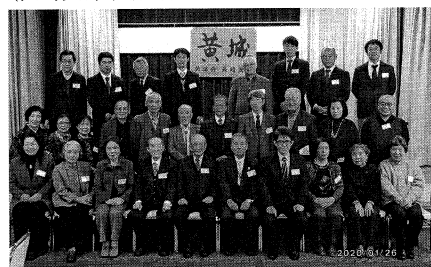


## 長崎支部

1月26日 諫早観光ホテル八千代 29名  
古川支部長、七田副会長、永田校長の挨拶のあと、前小城高校長の藤井伸幸さんに「小城高校敷地の地上と地下」(江戸後期)という興味深い講演をしていただきました。

最年長の4回生江頭駿治さんの乾杯の音頭で宴会に入り、両年度の実行委員の挨拶を聞きながら、美味しい料理や飲み物をいただきました。催し物としては小城高の敷地から出土した染付蝶蘭文碗をもとに制作された藤井さん寄贈の創立120周年記念の5個のワイングラスをめぐるジャンケンゲーム、二胡演奏、フラダンス、「ミネソタの卵売り」の余興、頭の体操(花の名クイズ等4つ)、連想式福引きなどを行い、さらに記念写真撮影、校歌斉唱、小川潔さん(本定2回)の閉会の音頭で会は終了しました。今年は130通の案内状を出すも未返信が47通あるなど課題を多く残した会となりました。

(長崎支部事務局長 高校10回 大石 太)



## 佐賀支部

11月23日 グランデはがくれ 172名  
過去の出席者数、漸減傾向に歯止めをかけ、増加策を図った。この結果、目標の180名には届かなかったが172名の参加を得る。

来賓として、永田彰浩小城高等学校校長他8名様の出席を得た。

冒頭、急逝された岩松要輔現会長をはじめ物故者に黙祷を捧げました。

引き続き江里口支部長は歓迎の挨拶の中で、1年を振り返り、佐賀維新博、令和への改元、佐賀豪雨被害、岩松会長のご逝去、母校の活躍振り、総会への出席御礼等々を述べる。併せて、当番回生への協力お礼、協賛広告、抽選会景品等の協力のお礼を述べた。

来賓祝辞では、川副副会長から、佐賀支部総会開催のお祝いと黄城会活動への協力のお礼、並びに高校46回と47回の当番回生への謝辞が述べられた。

続いて永田校長から、10月26日の創立120

周年記念式典協力のお礼と、生徒・職員が一体となって行っている活動事例や、黄城会が寄贈した記念品等について謝辞を述べられた。更に、リクルート社発行の全国誌に、小城高校が紹介されたことと発表。正に八面六臂の活躍ぶりである。

平成30年度会計決算報告では、岸川宗一郎氏の事務局長退任に伴う徳久英二氏(高校22回)の就任の挨拶があった。この後同氏より決算報告、続いて飯守豊宜監査役から監査報告等がなされ、決算は承認された。

懇親会の部は、佐賀県ハーモニカ協会長土屋治人氏の素晴らしい演奏を堪能した。

チャリティ・ジャンケンゲームでは吉武安子さん(高校16回)が最後まで勝ち残り、「これで人生の運を全部使い果たしたかも」と、ユーモアたっぷりの挨拶があった。

続いてお楽しみ抽選会では、会員から集まった伊万里や有田の陶磁器や、逸品等が当たり、盛り上がった。

最後に、旧中、高女、新高の校歌を全員で斉唱し、万歳三唱で閉会となった。

意義ある支部総会であったことを伝え、以上ご報告します。

(佐賀支部支部長 高校16回 江里口 勉)



## 唐津支部

2月2日 虹の松原ホテル 33名  
令和元年度唐津支部総会及び懇親会を33名の参加により開催しました。

本部から川副副会長、母校から永田校長、支部から佐賀・多久・福岡の支部長が来賓としてお越しいただきました。

総会では、唐津支部の活動の報告と白石前唐津支部長の作成による支部会報を配布しました。次に来賓の皆様から、黄城会本部や各支部の活動の紹介、最近の学校、生徒たちの近況がありました。また、新旧本部総会実行委員会からのお礼とお願いがありました。

懇親会では、参加者全員の自己紹介タイムがあり、唐津地区在住や勤務者の近況を聞き、江口善子会員によるレクリエーション、全員に記念品が当たるジャンケン大会など大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。

唐津支部総会は、毎年2月第1日曜日に虹の松原ホテルで計画しています。支部内外から多くの参加を心よりお待ちしております。

(唐津支部事務局長 高校43回 濱村 宜弘)



## 多久支部

2月9日 北多久公民館 約70名  
小雨が降る暖冬の2月に、令和はじめての多久支部総会が開催されました。

本部から外尾事務局長、本校から永田校長先生、各支部の役員の皆様、そして支部相談役である横尾多久市長にもご臨席いただき、和やかな雰囲気の中総会が行われました。

横尾市長のあいさつをはじめ、黄城会本部、本校からあいさつをいただき、次に事業報告を行い、黄城会総会の実行委員会によるお礼(2019年度)と次期総会のPRと協力をお願い(2020年度)のあいさつがなされた後、最後に校歌斉唱で総会を締めくくりました。

第2部のアトラクションは、縁起が良く、新年にふさわしい多久孔子の里獅子舞様の獅子舞披露で盛り上がり、第3部の懇親会では先輩後輩の交流や同窓生の交流により、さらに親睦を深めました。

今回、黄城会多久支部総会の実行委員の活動を通して感じましたことは、黄城会多久支部は、旧友が集い、さらに絆を深める大事な場所であるということでした。来期の実行委員に引き継ぐことにはなりますが、今後とも多久支部をよろしく願っています。

(高校46回 市丸 賢正)



## 県庁支部

2月12日 グランデはがくれ 37名

県庁支部総会は、例年10月に開催していましたが、今年は、事務局の準備不足等から2月開催となり、県庁支部が最後の支部総会となったと聞いております。本部をはじめ、関係者の皆様にはご心配をおかけし、申し訳ありませんでした。

さて、当日は、冒頭に昨年ご逝去された岩松会長と永池理事(県庁OB)及び2名の支部会員に黙祷し、ご冥福をお祈りいたしました。引き続き、本部の外尾事務局長、母校の永田校長から黄城会本部の状況や母校の生徒たちの活躍等についてお話をいただきました。また、総会実行委員の方には、昨年の総会のお礼と今年の総会の紹介と案内をしてもらいました。

前述のとおり、異例の時期の開催となったため、例年に比べ支部会員の参加者がかなり少なくなりましたが、懇親会では日頃の苦労話や懐かしい昔話で大いに盛り上がり、最後は参加者全員で校歌を熱唱しました。

(県庁支部支部長 高校32回 神代 芳男)



## 22回生 卒業50周年を迎えて



高校22回  
徳久 英二

私の手に、黄城会総会会員券が、150枚あります。創立121周年の総会と卒業50周年の同窓会を目の前にして、中止が決まり使用されないままです。新型コロナ感染が、中国を発端として猛威を振るい瞬く間に世界中に拡がりました。これはグローバル社会に対するしっぺ返しという人もいます。人、モノ、金、情報が世界中を網羅している現代社会への警告です。一方では、過去にもあったように人類が越えなければならない次世代へのステップだという人もいます。何はともあれ、見えない敵に勝利するには、ここは耐えて、ステイホームに心がけ収束を待つしかないと思われまふ。ここまで準備に時間を割いてきたことを思うと悔しさが残ります。また当番回期の47期の実行委員のメンバーは、ついてないでは言い切れないやるせなさがあるのではと思ひます。そんな中、事務局より会報への投稿依頼が来ましました。先輩たちの投稿を読むと楽しい思い出が多岐に書かれています。しかし今年度は同窓会、総会が中止となり何をどう書けばいいのか、迷いました。

紙面を飾るには物足りなさがありますが、①高校時代の頃、②還暦同窓会のこと、③今回の同窓会の準備等、を振り返りながらの感想にしたいと思ひます。

①私たちが、小城高校を卒業したのは昭和45年です。卒業生は、482名です。

当時は、炭鉱閉山で転校生が数名おりましたが、小城市出身者が中心で多久市が次を占め全体で10

クラスの編成でした。通学は、今は見ることがないSLで通いました。売り子さんが小城羊羹を車内販売していたのを覚えています。小城駅から北に延びる本町通りも今より少し賑わいがありました。小城駅から本校までの途中に小城公園があり、小高い丘の上からは、公園をはじめ、サッカー場、野球場、本校校舎、テニスコート等の素晴らしいロケーションが今も変わらず見られます。こんな良い環境は他の高校にはなく小城高校で学べたことに感謝や誇りを感じるのは、私だけではないと思ひます。

高校時代の思い出は、1年生の時の漢字テストで苦戦したこと、2年生では、男女で行けるようになった年（それまで女子のみ）の修学旅行で列車のデッキから転落事故があり、3年には、長年の懸案だった長髪が認められたこと等が浮かびます。他にもあるのですが、なにしろ年齢とともにすぐには思い出せません。また当時は、佐賀大学の寮の撤去問題が発火点となり、大学紛争が全国に飛び火し、のちに東大安田講堂事件が起こりました。深夜放送でオールナイトニッポンがはじまり、グループサウンズ、フォークソング、ボーリング等が流行りました。下校時によく食べたラーメン、回転饅頭、うまかったね。

振り返ると将来の展望もはつきりしないまま、ほんやりと過ぎた3年間でした。

②平成23年9月17日に還暦同窓会をグランデ・はがくれで開催しました。122名（男性67名、女性55名）の参加です。皆さん相応に年を取り、風格のある顔が見られました。久しぶりの再会であちこちからひとときわ甲高い声が飛び交い、この時ばかりは全員が高校時代に戻り

ました。たまたま同級生の永松和久君が、グランデ・はがくれの館長に着任していたので、ずいぶんと配慮してもらいました。

小城太鼓の演奏によるオープニングセレモニーの後、坂井実行委員長が開会を宣言。続いて1年後輩の内野校長先生から祝辞と母校の近況報告。校歌斉唱後に埼玉から駆け付けた西村義彦君の乾杯の音頭で開宴となりました。踊り披露やビンゴゲームで大いに盛り上がり、その勢いのまま、別ホールで2次会となりました。みんなのやりとりは、「お前、高校の時とちっとも変わらんニヤー」でした。③卒業50周年の同窓会準備は、先輩たちのやり方を世話役が承知してなかったこともあり、情報収集をしながら、予算、会場、出し物、案内文、役割分担等の全体スケジュール作りでのスタートでした。11月に1回目の案内を送り、1月に出欠のハガキを発送しました。そのころまでは、コロナ感染は、ニュースで聞いていたものの、ここまで拡大するとの危機感はありませんでした。3月10日がハガキの締め切り日でしたが、2月末日での出席者数は、40名でした。目標を100人としていたので、不安の中、93名の参加者がありほっとしました。ただ、関東をはじめ県外の参加者からは、本当に開催できるのか？との問い合わせが増える中、佐賀県からの感染者も出てこれは開催が厳しいかななどの思いが強まりました。3月28日に龍登園に世話役、実行委員のメンバーが集まり、一人一人の意見を聞いた上で中止を決定し、参加者には、手分けして連絡を入れました。記念すべき同窓会が開催できなかったのは大変残念ですが、私たちにとって生涯忘れられない卒業50周年になりました。



## 3年間の集大成

首藤朋紀（九州大学医学部保健学科看護学専攻）

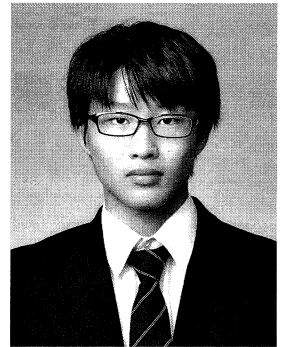
私は小城高校でとても有意義な3年間を過ごすことができました。小城高校で過ごした時間のほとんどが先生方の授業であったり、友人との楽しい時間でした。

入学してしばらくは慣れない課題の量に戸惑ったりもしました。でも、慣れてしまえば、部活との両立もできて充実した生活を送ることができました。テスト期間は、友人と一緒に勉強して教え合い、先生方も質問に丁寧に答えてもらえたので、なんとか乗り越えることができました。受験勉強が始まると、先生方と個人的に話す機会も多くなり、昼休みや

放課後に質問に行くことも多くなりました。先生方はいつも熱心に、私が理解できるまで教えてくださったので、苦手な分野も克服できました。センター試験に近づいても、自分が頑張った教科の点数が伸びなかったときは辛かったですが、周りの友人が頑張っているのを見ると、負けたくないという気持ちが強くなり、頑張ることができました。私は、周りの友人や、先生に恵まれていたと思います。いつも支えてくださった先生方や、助け合った友人には感謝しています。

センター試験では目標点には届き

ませんでした。でも、今回の受験では私が3年間で学んできたこと的一切都を發揮できたと思います。私は、春から九州大学医学部保健学科看護学専攻に進学します。小城高校で過ごした3年間をこれからの糧に、夢の実現に向けて一生懸命頑張りたいと思います。



## 色々なことに興味を持って

徳永 慧（熊本大学文学部グローバルリーダーコース（歴史学科））

私は高校の3年間で、非常に多くのことを学ぶことができました。高校受験では、特色選抜、一般試験ともに落ち、二次試験で合格したので、当初は色々思い悩みました。ただ、高校では自分の興味関心や勉強の可能性、内容-深みを尊重し、応援して下さる先生方に恵まれ、小学校以来有していた自分の進みたい道を目指して行動することができました。他の高校を選んでいたらどうなっていたらでしょうか、高校受験で失敗（結果的には成功だとしても）していなかったら今自分はしているだろうか、ということ最近考えますが、この3年間で自分が小城高校で最も良かったのは、自分を理解・尊重して、支えて下さる人に恵まれたことだと思います。高校生活3年間で、嫌なことがなかったわけではありませんし、ストレスが溜まることも多々ありましたが、その都度周りの人々に助けってもらいまし

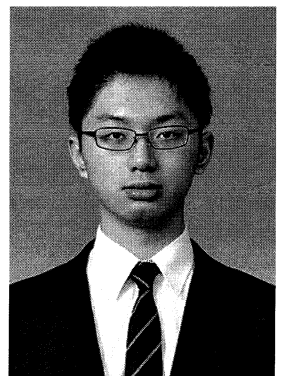
た。これは感謝してもしきれないほどありがたいことです。

私は春から熊本大学文学部グローバルリーダーコースで歴史学を学び始めますが、「合格体験記」としてあげるならば、「色々なことに興味を持つこと」が大切だと思います。

基本的な勉強はもちろんですが、本にしろネットにしろ、様々な物事に触れて知識を蓄えていくことが大切だと思います。よく「新書を読め」と言われますが、単に自分の進む分野の新書だけでなく、他分野、小説、映画、新聞、時にある漫画を読んでいたことで試験で救われた、という経験もあるので、とにかく一分野、一種類にとどまらず、多くのことを吸収しておけば、ふとした時にその知識が役に立つことがあります。実際に受験した文学部の入試では直前に読んでいた教育関係や国際関係、韓国情勢の本の知識が役に立ちました。また、入試に関して、自分の経

験からは、とにかく反復学習が効果的だと思います。私はAO入試を受験しましたが、その際先生が過去の入試問題全てを用意してくださり、それをひたすら特訓しました。そして入試本番では過去問のままの質問がなされ、うまく答えることができました。他の受験生は「過去問を持っていない」と話していたので、入手が難しい中で探して下さった先生方には本当に感謝しています。

春からの新しい環境で、自分の目指す目標のために、これまで関わった人々への感謝を忘れずに前進していきたいです。



合格状況 ( )内は過年度卒

【国立大学】東京外国語大学2 / 静岡大学(1) / 広島大学2 / 山口大学2 / 香川大学1 / 九州大学1 / 九州工業大学1 / 福岡教育大学1(1) / 佐賀大学24(2) / 長崎大学1 / 熊本大学4(1) / 大分大学2 / 鹿児島大学(2)

【公立大学】下関市立大学1 / 北九州市立大学10(2) / 長崎県立大学4 / 熊本県立大学1(1)

【私立大学】早稲田大学2 / 明治大学1 / 立教大学3 / 東海大学(3) / 明治学院大学1 / 同志社大学4(1) / 立命館大学3(3) / 関西大学2 / 龍谷大学2 / 近畿大学(5) / 岡山理科大学1 / 広島修道大学1 / 福山大学1 / 梅光学院大学1 / 徳島文理大学1 / 西南学院大学7(2) / 福岡大学24(7) / 中村学園大学10 / 久留米大学60 / 九州産業大学19(1) / 筑紫女学園大学12 / 福岡工業大学6(3) / 久留米工業大学7 / 福岡女学院大学4 / 国際医療福祉大学1 / 純真学園大学2 / 西九州大学39 / 長崎国際大学8(1) / 長崎外国語大学2 / 熊本学園大学1 / 崇城大学2 / 別府大学3 / 立命館アジア太平洋大学1 / その他の大学9

【短期大学】国公立短期大学2 / 私立短期大学15

【その他】文科省外大学校3 / 高等看護学校7 / 医療系専門学校9 / その他専門学校14 / 就職3

部活動の成績

1.柔道

○第57回佐賀県高等学校総合体育大会 / 女子団体 第3位 / 女子個人 優勝 山本萌(九州大会・全国大会出場) / 女子個人 第2位 雫田知美・荒巻絵梨奈・江口楓・光武千佳(九州大会出場) / 女子個人 第3位 園田真弓  
○令和元年度全九州高等学校体育大会 / 女子個人 第3位 荒巻絵梨奈  
○令和元年度金鷲旗高校柔道大会 / 敢闘賞 山本萌  
○令和元年度佐賀県高等学校新人体育大会柔道競技大会 / 女子団体 第3位 / 女子個人 優勝 荒巻絵梨奈・江口楓(九州大会出場) / 女子個人 第2位 光武千佳(九州大会出場) / 女子個人 第3位 園田真弓

2.サッカー

○令和元年度佐賀県高等学校サッカー新人大会 / 第2位(九州大会出場)

3.弓道

○佐賀県高等学校弓道2年生大会 / 男子団体 第2位 / 男子個人 第3位 野見山寛大

4.バドミントン

○第46回高校新人大会 / 女子団体 第2位  
○第44回高校生学年別大会第1学年の

部 / 女子個人 第3位 松門愛弓

5.陸上

○第74回佐賀県陸上競技選手権大会 / 女子棒高跳 第1位 松本紗季(大会新記録) / 女子棒高跳 第2位 土師想菜 / 男子800m 第5位 柿本雄哉 / 男子400mハードル 第6位 井手飛斗  
○第57回佐賀県高等学校総合体育大会 / 女子棒高跳 第1位 松本紗季(北九州地区予選会出場) / 女子棒高跳 第2位 土師想菜(北九州地区予選会出場) / 男子400mハードル 第2位 井手飛斗(北九州地区予選会出場) / 女子走幅跳 第6位 松本紗季(北九州地区予選会出場)  
○第72回全国高等学校陸上競技対校選手権大会北九州地区予選会 / 女子棒高跳 第6位 松本紗季  
○令和元年度第52回佐賀県高等学校新人陸上競技大会 / 男子800m 第3位 立石大喜(九州大会出場) / 女子棒高跳 第2位 土師想菜(九州大会出場)

6.テニス

○第47回佐賀県高校テニス選手権大会 / 男子シングルス 第3位 遠藤豪  
○第57回佐賀県高等学校総合体育大会 / 団体 第2位(九州大会出場)

7.少林寺拳法

○第57回佐賀県高等学校総合体育大会 / 組演武 第1位 池田楓太・亀崎優大(九州大会・全国大会出場)

8.相撲

○佐賀県高校相撲新人選手権大会 / 団体 第3位(九州大会出場)  
○第57回佐賀県高等学校総合体育大会 / 個人 第3位 中里俊哉

9.空手道

○第6回日本空手協会佐賀県本部小中高生空手道選手権大会 / 個人 第2位 中野陽輝

10.馬術

○第55回九州馬術大会 / 女子個人 第2位 志田朱音  
○令和元年度国民体育大会第39回九州ブロック大会 / 女子団体 第2位  
○第74回国民体育大会 / 少年 団体 第7位

11.ボウリング

○第39回全九州ダブルスボウリング選手権大会 / 女子 第2位 笠原裕奈  
○第74回国民体育大会 / 少年女子団体戦 第4位

【文化部】

1.書道

○第44回佐賀県書作家協会展 / 書作家協会賞(1席) 古賀百葉  
○第48回全国高校書道展 / 推薦 小野千潤  
○第47回七夕書道展 / 県教育長賞(2席) 廣瀬由佳 / JA共済連佐賀賞(4席) 馬場彩華  
○第31回佐賀県高等学校総合文化祭書道部門 / 特選 相島沙也香(全国大会

出場) / 特選 香月彩愛(九州大会出場)

○第42回中林梧竹翁顕彰書道展 / 梧竹顕彰会賞 松江遥香 / 小城天山ライオンズクラブ賞 中道陽代 / 特選 松尾美冬 / 奨励賞 馬場彩華

○第25回全日本高等学校書道コンクール / 団体 第4位 / 大賞(石門頌賞) 古賀百葉

2.吹奏楽・合唱

○第60回佐賀県吹奏楽大会 / 銀賞  
○第43回全国高等学校総合文化祭合唱部門 / 文化連盟賞  
○2019年度佐賀県合唱コンクール / 金賞(九州大会出場)  
○第74回九州合唱コンクール / 銅賞  
○第43回佐賀県高等学校音楽コンクール 金管楽器部門 / 金賞 井田めぐり(九州大会出場)  
○第43回佐賀県高等学校音楽コンクール ピアノ部門 / 銅賞 金ヶ江舞衣子・嶺川亜梨沙

○第31回佐賀県高等学校総合文化祭合唱部門 / 奨励賞

○第31回佐賀県高等学校総合文化祭吹奏楽部門 / 奨励賞

○第31回佐賀県高等学校総合文化祭吹奏楽部門 / 奨励賞 松永紅葉

○第25回佐賀県ヴォーカルアンサンブルフェスティバル / 奨励賞

3.美術

○第72回佐賀県高等学校スケッチ大会 / 準特選 高田光沙・山口愛可・金丸晃子 / 奨励賞 山下楓・池田真依  
○第31回佐賀県高等学校総合文化祭美術・工芸展 / 特選 江里口夏海 / 準特選 小石匠・高田光沙・江里口萌香・山口愛可・金丸晃子・江里口笑花  
○第59回佐賀県高等学校デッサンコンクール / 特選 山口愛可 / 準特選 池田真依・江里口萌香 / 奨励賞 高田光沙

4.放送

○第66回NHK杯全国高校放送コンテスト佐賀県大会 / 奨励賞 馬渡菜々子  
○第43回佐賀県高校放送コンテストアナウンス部門 / 奨励賞 松本萌菜・横町侑花・三瀬稀凡  
○第65回NHK杯全国高校放送コンテストアナウンス部門 / 入選 大家千東



書道部



お知らせ

## 令和2年度 支部総会予定日

令和2年度の支部総会開催日をお知らせいたします。時間、会場等は各支部へお尋ねください。

| 支部名 | 予定日              | 氏名            | 電話                       |
|-----|------------------|---------------|--------------------------|
| 関東  | 中止(※)            | 幹事長<br>光石 信幸  | 043-250-6539             |
| 中京  | 未定               | 事務局長<br>堤 淳   | 056-152-9252             |
| 関西  | 未定               | 事務局長<br>内田 敏博 | 0774-63-6271             |
| 福岡  | 令和2年<br>10/10(土) | 幹事長<br>古賀 省吾  | 090-8669-4023            |
| 県庁  | 未定               | 幹事長<br>塚原 弘幸  | 0952-25-7056<br>(こども家庭課) |

| 支部名   | 予定日              | 氏名            | 電話            |
|-------|------------------|---------------|---------------|
| 関門北九州 | 令和2年<br>11/15(日) | 支部長<br>山口 孝美  | 080-3182-0346 |
| 佐賀    | 中止(※)            | 事務局長<br>徳久 英二 | 090-9578-4672 |
| 長崎    | 令和3年<br>1/31(日)  | 事務局長<br>大石 太  | 090-6774-1144 |
| 唐津    | 令和3年<br>2/7(日)   | 事務局長<br>濱村 宜弘 | 080-1725-4591 |
| 多久    | 令和3年<br>2/14(日)  | 事務局長<br>古賀 通雄 | 090-8767-9949 |

(※) 詳細は黄城会ホームページの「お知らせ」をご覧ください

## 一般財団法人 黄城教育会館について

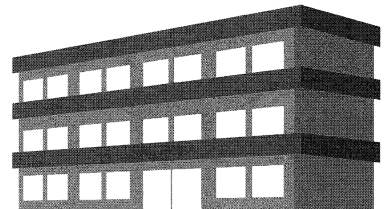
旧黄城会館は、小城高等女学校の樟影館(昭和13年築)を黄城会館として使用していたものを、創立90周年記念事業の一環として黄城教育会館建設、財団法人黄城教育会館設立が計画され、佐賀県教育委員会の認可を得て昭和63年3月23日に財団法人黄城教育会館設立登記を経て、平成元年2月10日起工式、同年10月14日創立90周年記念式典、黄城教育会館落成式が行われ現在に至っています。

平成18年6月2日に公布された公益法人制度改革三法(略称:「法人法」、「認定法」、「整備法」)を受け、平成20年12月1日に公益法人制度改革三法が施行されたことに伴い、自動的に財団法人黄城教育会館は民法特例法人になりました。

税法等の優遇措置がある「一般財団法人」に移行するため、定款をはじめとする諸規程などの整備に努め、一般財団法人認定に向けての諸準備を進め、平成23年10月28日に佐賀県知事に対して一般財団法人への移行認可申請を行い、その後、佐賀県公益認定等審議会による審査の結果、平成23年11月22日に佐賀県公益認定等審議会会長から佐賀県知事に対して「認定の基準に適合すると認めるのが相当である。」と答申され、佐賀県知事から「一般財団法人」の認定を受け、平成24年4月1日に「一般財団法人黄城教育会館」に移行登記を行い、9期目を迎えています。

### 〔令和2年度(第9期)一般財団法人 黄城教育会館の概要〕

- 1 流動資産 3,112,631円(現金預金)
- 2 固定資産 (1)基本財産 20,000,000円(定期預金)  
(2)その他 119,418,487円(帳簿価格:建物、建物附属設備、構築物、什器備品)
- 3 予 算 (1)収入(経常収益) 6,111,000円(会館使用料 100,000円を含む。)  
(小城高教育振興会及び黄城会会計から各 3,000,000円を補助)  
(2)支出(経常費用) 10,270,000円(減価償却費 3,400,000円を含む。)
- 4 事 業(公益目的事業)
  - (1)生徒に対する奨学金給付事業  
各学年4名を定員とし、月額10,000円を1年間給付する。
  - (2)学校教育並びに体育及び文化の振興を図るための会館貸与事業  
会館を使用できる者の範囲
    - ①黄城会(小城高等学校卒業生で構成する同窓会)会員
    - ②小城高等学校のPTA会員及び教育振興会会員
    - ③小城高等学校生徒
    - ④小城高等学校教職員
    - ⑤その他関係のある団体で理事長が適当と認めたもの
 上記①から④に該当する者の会館使用料は、無償。(空調設備使用料を除く。)



# 令和元年度会員寄付金の卒業回期別寄付者一覧 (敬称略)

会員の皆さまには、日ごろから黄城会の円滑な運営に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当会は「会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与すること」を目的にした事業を行っておりますが、建築後32年目の黄城教育会館の維持管理及び将来の改修費用並びに育英奨学金資金の確保のためにご寄付をお願いしましたところ、(301口) 2,572,000円のご寄付をいただきました。心から感謝申し上げます。

ご協力いただいた寄付金につきましては、お願いした趣旨の通り有効に活用させていただきます。

ここに感謝の意を込めてご尊名を掲載させていただきました。また、この会員寄付金は、今後も継続して計画させていただきますので、なにとぞご協力賜りますようお願いいたします。

小城高等学校同窓会 黄城会会長

|                      |               |                   |                |                |                |                    |
|----------------------|---------------|-------------------|----------------|----------------|----------------|--------------------|
| (旧中42)<br>於保實美       | 石井(馬場)津智子     | (高校9)<br>金丸忠      | 沖田極            | 古賀(藤田)弘子       | 田中政敏           | (高校29)<br>雪竹稔      |
| (旧中45)<br>佐保肇        | 川口(山田)綾羽      | 上坂義重              | 林義人            | 柳島(木崎)万智子      | 田原泰明           | 井手(音成)真喜子          |
| (旧中46)<br>鶴橋英治       | 岸川郁子          | 森永瑞穂              | 麻田(池上)満代       | (高校17)<br>石井隆  | 阿部(天ヶ瀬)真紀子     | (高校30)<br>小野(小柳)信子 |
| (高女20)<br>林田(真子)恵美子  | 堤(三好)澤子       | 山崎禎昭              | 江口(光石)洋子       | 齊藤清一郎          | 関(江島)和子        | 黒岩正孝               |
| (高女21)<br>増田(陣内)清子   | 成田(山下)博子      | 土井(飛石)恭子          | 平野(村口)多喜子      | 原田元彦           | 田中敏子           | 吉谷弘                |
| (高女25)<br>加藤(西條)キミコ  | 浜田(渡瀬)幸子      | 山地(手柴)満子          | 深江(伊東)満子       | 吉田紘二郎          | 堤喜恵            | 城(寺崎)仲子            |
| (高校1)<br>吉田英介        | 林田(真子)恵美子     | (高校10)<br>[故]岩松要輔 | (高校13)<br>鮎川正興 | 貝原(橋間)美佐子      | 中島(梅崎)恵子       | 匿名小城市              |
| (高校2)<br>有浦次海        | 秋吉成恭          | 大石太               | 坂口捷哉           | 加藤(岡)翠         | 山北(川内丸)都子      | (高校32)<br>大坪敏郎     |
| (高校3)<br>相原一郎        | 古賀弘毅          | 岡本壽夫              | 中尾久司           | 佐々木(松永)満智子     | 山口(飯盛)みな子      | 倉富正俊               |
| (高校4)<br>江頭駿治        | 西田澄生          | 岸川英俊              | 永山重隆           | 藤田(堤)昭子        | 山田(塚本)博子       | (高校36)<br>本村猛      |
| (高校5)<br>伊東研二        | 的野三千夫         | 木下謙次              | 樋口秀利           | 丸浜とみ子          | (高校22)<br>江頭朋彦 | (高校37)<br>緒方和義     |
| (高校6)<br>江里口雅正       | 南川政俊          | 黒岩弘               | 藤本義行           | 森(田中)孝子        | 大家保幸           | 大場(林田)知子           |
| (高校7)<br>川副富男        | 吉村久夫          | 古賀政利              | 小林(古賀)久子       | 若松(井上)ひろみ      | 熊井隆光           | (高校40)<br>荒川好子     |
| (高校8)<br>杉原敬人        | 萩野(小林)惇子      | 竹田雅彦              | 古川(永野)悠紀       | 飯盛健二郎          | 富岡龍馬           | (高校41)<br>山下哲夫     |
| (高校9)<br>高木修         | 北島(清水)文子      | 七島竹治              | 本間(松本)美智子      | 大坪正明           | 新田(福島)安典       | 山崎(黒岩)史子           |
| (高校10)<br>立石博        | [故]古賀(草津)泉    | 南里和幸              | 国信好永           | 村山龍彦           | 山下哲夫           | (高校43)<br>濱村宜弘     |
| (高校11)<br>飯盛(馬場崎)美智子 | 藤原(長崎)とし子     | 野口武彦              | 徳勝秀俊           | 吉次(豆田)悦夫       | 飯盛(鳥井)悦子       | 松本智弘               |
| (高校12)<br>池田敏憲       | 守田(川崎)アツ子     | 藤巻繁               | 檜崎進            | 川副陽介           | 西山(江里口)実希      | 松尾(詫摩)真弓           |
| (高校13)<br>大島文雄       | 吉村(江口)藤子      | 松枝修三              | 赤坂(牛島)朝子       | 永淵俊昭           | 八田(高木)淳子       | 松尾幸樹               |
| (高校14)<br>池田敏憲       | 手塚辰己          | 松永政治              | 岩崎淳子           | 川崎(土井)幸江       | 匿名豊中市          | (高校45)<br>外尾倫美     |
| (高校15)<br>池田敏憲       | 野口守夫          | 真子公敏              | 大塚(石丸)博子       | 匿名小城市          | 江口公博           | (高校47)<br>萩原孝一     |
| (高校16)<br>池田敏憲       | 古川倭夫          | 水田要               | 野田(片江)桂子       | (高校20)<br>荒原敏雄 | 川副康博           | 井上将成               |
| (高校17)<br>池田敏憲       | 水田和憲          | 牟田口博司             | 福島(真子)治枝       | 石田直人           | 田中佳規           | (高校48)<br>中尾和弘     |
| (高校18)<br>池田敏憲       | 青木(松尾)淑子      | 西岡(香田)敏子          | (高校15)<br>石本勝昭 | 江口幹郎           | 佐々木(三島)忍       | (本定2)<br>成相(藤川)京子  |
| (高校19)<br>池田敏憲       | 北原(秋田)豊子      | 森(野田)博子           | 板垣(牛丸)修        | 大坪健造           | 永淵(原)幸子        | (本定6)<br>今村健一      |
| (高校20)<br>池田敏憲       | 小林(公文)了子      | 安田(中島)紀子          | 七田義孝           | 岡田修三           | (高校24)<br>笠原浩二 | (多定2)<br>松本繁       |
| (高校21)<br>池田敏憲       | 西川(久保)行代      | 山崎(森)壽和子          | 陣内由晴           | 川原田徳治          | 諸泉定次           | (他)<br>匿名1人        |
| (高校22)<br>池田敏憲       | (高校8)<br>安藤清隆 | 山田(田中)寿美子         | 高畠茂穂           | 岸川宗一郎          | 西村(田中)由紀子      | (回期・住所不明)          |
| (高校23)<br>池田敏憲       | 井手芳穂          | 井上通正              | 豊田俊明           | 北島和道           | 森(土井)数子        |                    |
| (高校24)<br>池田敏憲       | 大野雅央          | 小寺宏               | 真鳥照男           | 南里一夫           | (高校25)<br>三根英樹 |                    |
| (高校25)<br>池田敏憲       | 瀧川晴雄          | 西田潤平              | 村上修            | 深川寛            | 吉田修            |                    |
| (高校26)<br>池田敏憲       | [故]堤功         | 野口武男              | 持永(真子)正彦       | 外尾美好           | (高校26)<br>内海唯史 |                    |
| (高校27)<br>池田敏憲       | 中原(袋)鎮        | 兵動利行              | 岩松(村岡)春子       | 松本耕三           | 田中伸子           |                    |
| (高校28)<br>池田敏憲       | 七島義人          | 前山賢               | 岡田(宮崎)裕子       | 光石信幸           | 辻(川副)直子        |                    |
| (高校29)<br>池田敏憲       | 西村長生          | 真子輝雄              | 久保(荒木)富子       | 吉本祥二           | 橋本(笹川)秀子       |                    |
| (高校30)<br>池田敏憲       | 西山俊幸          | 溝口一信              | 達(江口)信子        | 江頭(兵動)さよ子      | 藤(大野)きみ子       |                    |
| (高校31)<br>池田敏憲       | 秀島寛美          | 稲益(野方)一子          | 永江(橋本)トミエ      | 江頭充子           | 矢野(田中)律子       |                    |
| (高校32)<br>池田敏憲       | 森俊之           | 倉永寿子              | 中島(北村)要子       | 大坪(馬郡)みどり      | 塚原康子           |                    |
| (高校33)<br>池田敏憲       | 井手愛子          | 茂田(北島)道子          | 橋本澄子           | 大原(名尾)かおる      | 長尾(藤田)恵子       |                    |
| (高校34)<br>池田敏憲       | 大野(於保)富子      | 末田(下村)順子          | 宮原(吉富)史枝       | 野田(永淵)みえ子      | 野田(野口)京子       |                    |
| (高校35)<br>池田敏憲       | 公文(田代)益子      | 堤(田中)巡子           | 江里口勉           | 原田(森永)美重子      | 村岡(森永)美重子      |                    |
| (高校36)<br>池田敏憲       | 坂本(福山)啓子      | 中溝(吉田)易子          | 古賀紀昭           | (高校21)<br>池田修  | 池田修            |                    |
| (高校37)<br>池田敏憲       | 谷岸(寺尾)輝子      | 野田(八頭司)洋子         | 高木靖哉           |                |                |                    |
| (高校38)<br>池田敏憲       | 鶴橋(平山)みゆき     | 丸谷(田中丸)房子         | 田中昭二郎          |                |                |                    |
| (高校39)<br>池田敏憲       | 森永廣江          | (高校12)<br>池田敏憲    | 田中瑞穂           |                |                |                    |
| (高校40)<br>池田敏憲       | 吉村(犬山)米子      | 大島文雄              | 船津稔            |                |                |                    |
| (高校41)<br>池田敏憲       | 渡邊(中島)由美子     |                   |                |                |                |                    |

## 令和2年度黄城会役員一覧

▷会長=外尾美好(高20)▷副会長=古賀正人(高24)川副春海(高26)井手美保子(高28)▷顧問=平川聡(校長)碓剛(教頭)紀伊あけみ(事務長)▷理事=川副富男(高5)佐々木昇三(高7)大野雅央(高8)金丸盛登(高9)牟田口博司(高10)真子輝雄(高11)小柳平一郎(高12)中尾久司(高13)青柳隆(高14)七田義孝(高15)

梅崎茂弘(高16)松尾剛之(高17)野田和良(高18)江口武(高19)野田豊秋(高20)坂井正徳(高21)坂井一弥(高22)南里信幸(高23)横尾俊彦(高27)岡正幸(高30)安永正(高31)伊東猛彦(高32)水田信(高33)真崎俊夫(高34)松尾直人(高35)西岡聖師(高36)梶原聖司(高37)北島清孝(高38)香川弘行(高39)高塚誠(高40)飯盛宏

徳(高41)野田一彦(高42)西田亮(高43)瀨上史貴(高44)徳重隆仁(高45)▷監事=金丸忠(高9)福田智恵子(高26)雪竹稔(高29)▷事務局長=北島治樹(高20)▷庶務=山崎史子(高41)▷会計=田代智子

## 支部役員一覧

[関東支部]▷支部長=本村清人(高17)▷副支部長=村上徹(高19)井手勇人(高31)▷幹事長=光石信幸(高20)▷事務局長=川副隆之(高32)  
[中京支部]▷支部長=力武勉(高17)▷副支部長=梅谷雅和(高17)中嶋桂子(高25)▷事務局長=堤淳(高40)▷事務局長次長=吉田了(高43)▷会計=真子博行(高39)  
[関西支部]▷支部長=深川義隆(高17)▷副支部長=南里種司(高20)岡本正史(高27)▷事務局長=内田敏博(高20)

▷事務局長次長兼会計=森山栄子(高31)  
[関門・北九州支部]▷支部長兼事務局長=山口孝美(高29)  
[長崎支部]▷支部長=古川正人(高8)▷事務局長=大石太(高10)  
[福岡支部]▷支部長=南川武夫(高10)▷副支部長=堺八千代(高25)▷幹事長=古賀省吾(高26)▷副幹事長=小林佐登子(高33)▷監査役=辻正人(高12)  
[佐賀支部]▷支部長=江里口勉(高16)▷副支部長=梶原千尋(高5)金丸盛登

(高9)宮原史枝(高15)東島慶次郎(高16)▷事務局長 徳久英二(高22)  
[唐津支部]▷支部長=鮎川正博(高28)▷副支部長=永瀨明則(高16)▷事務局長=濱村宜弘(高43)  
[多久支部]▷支部長=梅崎茂弘(高16)▷副支部長=牛島和廣(高17)飯守康洋(高24)▷事務局長=古賀通雄(高23)  
[県庁支部]▷支部長=神代芳男(高32)▷幹事長=塚原弘幸(高35)

## 平成31年4月～令和2年3月までの物故者(敬称略)

(回期)氏名[住所]

(旧中)  
(33)大坪 三郎[佐賀市](33)田中義彦[佐賀市](36)下村 一雄[小城市](36)深町 健一[小城市](39)野田守信[小城市](40)副島 健三[多久市](43)木原 英俊[神戸市](43)田中忠司[佐賀市](45)北島 誠[佐賀市](46)相川 直敏[小城市](46)青木高[吹田市]  
(高女)  
(12)牛島 フミ[大牟田市](15)寺田サワノ[佐賀市](15)平山 ヒデ子[五島市](16)御所 三代子[筑紫野市](18)辻 とみ子[武雄市](18)中尾 禮子[小城市](19)轟木 春江[佐賀市](19)西山 春子[多久市](19)吉富 美恵子[福岡市](22)下村 雪江[佐賀市](22)安富 典子[小城市](25)江頭宣子[佐賀市](25)松永 昌子[神埼郡](27)大坪 恒子[多久市]  
(高校)  
(2)橋本 善信[佐賀市](2)増田 祝子[小城市](2)松本 光子[杵島郡](3)荒巻 甲子郎[小城市](3)江里口 勝

也[小城市](3)西山 和秀[多久市](3)堤 美好[小城市](3)永岡 芳子[佐賀市](3)花田 澄子[筑紫野市](3)森 房子[小城市](4)永池 安彦[小城市](4)白水 道子[鳥栖市](5)松本 靖[中野区](5)南 基司[小城市](6)中牟田 清子[神埼郡](6)南里忠重[小城市](7)江里口 宗男[江戸川区](7)大木 茂彦[小城市](7)倉永 圓宰[小城市](7)前山 修[多久市](7)森田 健司[横浜市](7)納富 美恵子[幸手市](8)家永 正人[唐津市](8)稲童丸 清人[佐賀市](8)北島武光[柏市](8)堤 功[瀬戸市](8)永池 隼人[西東京市](8)西山 尚人[久留米市](8)原口 克弘[小城市](8)古川 宗泰[佐賀市](8)秋永 秋子[小城市](8)原 哲代[小城市](8)山田紀子[飯能市](9)池田 豊[福岡市](9)野田 益男[木更津市](9)塚原 一子[多久市](9)西岡 勝代[佐賀市](10)岩松 要輔[小城市](10)金子 健治[多久市](10)佐々木 義登[小城市](10)谷口 容子[土浦市](10)溝口 利明

[小城市](12)杵淵 義方[杉並区](12)都留 傳四郎[小城市](13)深川節子[筑紫野市](14)西岡 正剛[つくば市](14)森永 四郎[小城市](15)垣花 秀夫[宮古島市](15)香月 光英[佐賀市](15)村山 恵美子[小城市](17)今若 邦博[金沢市](17)副島 浩孝[武雄市](17)秦 廣幸[小城市](18)土橋 俊彦[小城市](19)池田 正悟[小城市](19)平尾 幸男[佐賀市](19)藤井徳浩[佐賀市](19)力武 博明[小城市](20)大坪 正人[三郷市](20)吉野法正[小城市](21)吉岡 一美[箕面市](22)林 昇一[大分市](22)古川 正人[久喜市](22)田中 茂則[佐賀市](26)北島 重典[小城市](28)伊東辰己[小城市](28)今泉 一也[小城市](29)太田 誠[練馬区]  
(定時)  
(本定22)二重 義光[多久市](牛定2)橋間 喬[小城市](牛定2)原田 冲二[佐賀市](牛定2)東島 哲夫[杵島郡](多定2)瓦田 清道[多久市](多定3)永石 章[多久市]

## 一般寄付金

(平成31年4月～令和2年3月)

高校14回岩松則子様(故岩松会長の奥様) 200,000円/高校21回一同様(卒業50周年) 30,000円/高校30回一同様 2,600円



## 令和元年度黄城会本会計決算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

| (収入) |       | (単位;円)     |            |             |  |
|------|-------|------------|------------|-------------|--|
| No   | 費目    | 当初予算額      | 収入額        | 比較増減        | 備考   |
| 1    | 会費    | 5,000,000  | 3,690,000  | ▲ 1,310,000 | 会員1,277口より(令和元年度納入分)   |
| 2    | 入会金   | 2,365,200  | 2,376,000  | 10,800      | 在校生660人より  |
| 3    | 会員寄付金 | 1,000,000  | 2,572,000  | 1,572,000   | 会員301口より   |
| 4    | 一般寄付金 | 50,000     | 232,600    | 182,600     | 卒業50周年(高21)30,000円、高校30回2,600円<br>高校14回岩松則子様(岩松会長奥様)200,000円 |
| 5    | 雑収入   | 10,000     | 2,567      | ▲ 7,433     | 預金利息等  |
| 6    | 繰入金   | 1,000,000  | 0          | ▲ 1,000,000 |  |
| 7    | 繰越金   | 10,564,024 | 10,564,024 | 0           | 前年度より  |
| 合計   |       | 19,989,224 | 19,437,191 | ▲ 552,033   |  |

| (支出)   |               | (単位;円)     |            |           |                       |
|--------|---------------|------------|------------|-----------|-----------------------|
| No     | 費目            | 当初予算額      | 支出額        | 比較増減      | 備考                    |
| 行事費    | 1 会報発行費       | 600,000    | 671,716    | ▲ 71,716  | 12,200部               |
|        | 2 黄城会入会費      | 110,000    | 106,760    | 3,240     | 卒業生への記念品代             |
|        | 3 支部活動助成費     | 270,000    | 265,900    | 4,100     | 全国9支部へ(1,570人分)       |
|        | 4 回期活動助成費     | 80,000     | 70,200     | 9,800     | 高21回～高47回の各回期へ(702人分) |
| 管理運営費  | 5 創立記念事業費     | 1,000,000  | 993,600    | 6,400     | 小城高等学校創立120周年記念品寄贈    |
|        | 6 会費徴収費       | 1,600,000  | 1,745,261  | ▲ 145,261 | 会費・会員寄付金案内書、振込手数料     |
|        | 7 会議費         | 250,000    | 186,667    | 63,333    | 理事・監事会、評議員会           |
|        | 8 母校職員援助費     | 20,000     | 20,000     | 0         | 職員歓迎会祝儀               |
| 渉外費    | 9 支部関係渉外費     | 900,000    | 834,740    | 65,260    | 支部総会祝儀等、総会時支部来佐旅費     |
|        | 10 慶弔費        | 50,000     | 93,400     | ▲ 43,400  | 卒業50周年記念品料、香典ほか       |
| 補助金    | 11 (一財)黄城教育会館 | 12,000,000 | 10,000,000 | 2,000,000 | (一財)黄城教育会館へ運営費として     |
| 繰出金    | 12 基本金        | 1,000,000  | 0          | 1,000,000 |                       |
|        | 13 運営積立金      | 50,000     | 50,000     | 0         |                       |
|        | 14 名簿積立金      | 50,000     | 50,000     | 0         |                       |
|        | 15 退職給与積立金    | 50,000     | 50,000     | 0         |                       |
|        | 16 備品購入費      | 140,000    | 0          | 140,000   | パソコン更新                |
| 事務費    | 17 消耗品費       | 100,000    | 67,293     | 32,707    | 事務用文具等                |
|        | 18 通信費        | 250,000    | 277,016    | ▲ 27,016  | 電話料、郵送料、インターネット回線等    |
|        | 19 事務委託費      | 300,000    | 0          | 300,000   |                       |
|        | 20 賃借料        | 440,000    | 339,552    | 100,448   | PCソフトリース、メンテナンス料      |
|        | 21 雑費         | 100,000    | 6,367      | 93,633    | 小城高校卒業アルバム、振込料ほか      |
|        | 22 予備費        | 50,000     | 0          | 50,000    |                       |
| 合計     |               | 19,270,000 | 15,828,472 | 3,441,528 |                       |
| 次年度繰越金 |               | 719,224    | 3,608,719  | 2,889,495 |                       |

## 令和2年度黄城会本会計予算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

| (収入) |       | (単位;円)     |            |             |                         |
|------|-------|------------|------------|-------------|-------------------------|
| No   | 費目    | 令和2年度      | 令和元年度      | 比較増減        | 備考                      |
| 1    | 会費    | 5,000,000  | 5,000,000  | 0           |                         |
| 2    | 入会金   | 2,260,800  | 2,365,200  | ▲ 104,400   | 在校生より入会金(628人×300円×12月) |
| 3    | 会員寄付金 | 1,000,000  | 1,000,000  | 0           |                         |
| 4    | 一般寄付金 | 50,000     | 50,000     |             |                         |
| 5    | 雑収入   | 10,000     | 10,000     | 0           | 預金利息等                   |
| 6    | 繰入金   | 0          | 1,000,000  | ▲ 1,000,000 | 特別会計 基本金積立金より           |
| 7    | 繰越金   | 3,608,719  | 10,564,024 | ▲ 6,955,305 | 前年度より                   |
| 合計   |       | 11,929,519 | 19,989,224 | ▲ 8,059,705 |                         |

| (支出)      |               | (単位;円)    |            |                   |                    |
|-----------|---------------|-----------|------------|-------------------|--------------------|
| No        | 費目            | 令和2年度     | 令和元年度      | 比較増減              | 備考                 |
| 行事費       | 1 会報発行費       | 700,000   | 600,000    | 100,000           |                    |
|           | 2 黄城会入会費      | 110,000   | 110,000    | 0                 | 卒業生への記念品代          |
|           | 3 支部活動助成費     | 230,000   | 270,000    | ▲ 40,000          | 全国9支部へ             |
|           | 4 回期活動助成費     | 70,000    | 80,000     | ▲ 10,000          | 高22回～高48回の各回期へ     |
| 管理運営費     | 5 創立記念事業費     | 0         | 1,000,000  | ▲ 1,000,000       |                    |
| 6 会費徴収費   | 1,800,000     | 1,600,000 | 200,000    | 会費・会員寄付金案内書、振込手数料 |                    |
| 7 会議費     | 250,000       | 250,000   | 0          | 理事・監事会、評議員会       |                    |
| 8 母校職員援助費 | 20,000        | 20,000    | 0          | 職員歓迎会祝儀           |                    |
| 渉外費       | 9 支部関係渉外費     | 900,000   | 900,000    | 0                 | 支部総会祝儀等、総会時支部来佐旅費  |
|           | 10 慶弔費        | 50,000    | 50,000     | 0                 | 卒業50周年記念品料ほか       |
| 補助金       | 11 (一財)黄城教育会館 | 3,000,000 | 12,000,000 | ▲ 9,000,000       | (一財)黄城教育会館へ運営費として  |
| 繰出金       | 12 基本金        | 1,000,000 | 1,000,000  | 0                 | 会員寄付金              |
|           | 13 運営積立金      | 50,000    | 50,000     | 0                 |                    |
|           | 14 名簿積立金      | 50,000    | 50,000     | 0                 |                    |
|           | 15 退職給与積立金    | 50,000    | 50,000     | 0                 |                    |
|           | 16 備品購入費      | 140,000   | 0          | 140,000           | パソコン更新             |
| 事務費       | 17 消耗品費       | 100,000   | 100,000    | 0                 | 事務用文具等             |
|           | 18 通信費        | 250,000   | 250,000    | 0                 | 電話料、郵送料、インターネット回線等 |
|           | 19 事務委託費      | 300,000   | 300,000    | 0                 | システム開発、ホームページ改訂委託  |
|           | 20 賃借料        | 440,000   | 440,000    | 0                 | PCソフトリース、メンテナンス料   |
|           | 21 雑費         | 100,000   | 100,000    | 0                 |                    |
|           | 22 予備費        | 50,000    | 50,000     | 0                 |                    |
| 合計        |               | 9,660,000 | 19,270,000 | ▲ 9,610,000       |                    |
| 次年度繰越金    |               | 2,269,519 | 719,224    | 1,550,295         |                    |

令和元年度（第8期）一般財団法人黄城教育会館正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

| 科 目                  | 令和元年度決算            | 平成30年度決算           | 増減               |
|----------------------|--------------------|--------------------|------------------|
| <b>I 一般正味財産増減の部</b>  |                    |                    |                  |
| 1. 経常増減の部            |                    |                    |                  |
| (1) 経常収益             |                    |                    |                  |
| 基本財産運用益              | 1,699              | 3,031              | ▲ 1,332          |
| 基本財産受取利息             | 1,699              | 3,031              | ▲ 1,332          |
| 事業収益                 | 182,700            | 91,750             | 90,950           |
| 会館使用料                | 182,700            | 91,750             | 90,950           |
| 受取補助金等               | 13,000,000         | 6,000,000          | 7,000,000        |
| 運営費補助収入              | 13,000,000         | 6,000,000          | 7,000,000        |
| 雑収入                  | 1,412              | 2,978              | ▲ 1,566          |
| 受取利息                 | 12                 | 8                  | 4                |
| 雑収入                  | 1,400              | 2,970              | ▲ 1,570          |
| <b>経常収益計</b>         | <b>13,185,811</b>  | <b>6,097,759</b>   | <b>7,088,052</b> |
| (2) 経常費用             |                    |                    |                  |
| 事業費                  | 1,440,000          | 1,440,000          | 0                |
| 奨学助成費                | 1,440,000          | 1,440,000          | 0                |
| 管理費                  | 10,611,322         | 7,200,861          | 3,410,461        |
| 給料手当                 | 2,353,388          | 2,294,929          | 58,459           |
| 法定福利費                | 21,678             | 20,869             | 809              |
| 消耗品費                 | 134,412            | 78,616             | 55,796           |
| 燃料費                  | 116,587            | 63,887             | 52,700           |
| 光熱水費                 | 547,505            | 609,711            | ▲ 62,206         |
| 工事請負費                | 5,095,320          | 0                  | 5,095,320        |
| 修繕費                  | 52,800             | 6,372              | 46,428           |
| 通信運搬費                | 3,365              | 940                | 2,425            |
| 手数料                  | 18,500             | 11,000             | 7,500            |
| 賃借料                  | 24,890             | 24,890             | 0                |
| 委託費                  | 1,447,248          | 792,672            | 654,576          |
| 登記料                  | 74,212             | 41,942             | 32,270           |
| 火災保険料                | 139,120            | 139,120            | 0                |
| 減価償却費                | 575,897            | 3,115,913          | ▲ 2,540,016      |
| 雑費                   | 6,400              | 0                  | 6,400            |
| <b>経常費用計</b>         | <b>12,051,322</b>  | <b>8,640,861</b>   | <b>3,410,461</b> |
| <b>当期経常増減額</b>       | <b>1,134,489</b>   | <b>▲ 2,543,102</b> | <b>3,677,591</b> |
| 2. 経常外増減の部           |                    |                    |                  |
| (1) 経常外収益            | 0                  | 0                  | 0                |
| 経常外収益計               | 0                  | 0                  | 0                |
| (2) 経常外費用            | 0                  | 0                  | 0                |
| 固定資産除去損              | 0                  | 0                  | 0                |
| 経常外費用計               | 0                  | 0                  | 0                |
| <b>当期経常外増減額</b>      | <b>0</b>           | <b>0</b>           | <b>0</b>         |
| <b>当期一般正味財産増減額</b>   | <b>1,134,489</b>   | <b>▲ 2,543,102</b> | <b>3,677,591</b> |
| 一般正味財産期首残高           | 141,361,623        | 143,904,725        | ▲ 2,543,102      |
| 一般正味財産期末残高           | 142,496,112        | 141,361,623        | 1,134,489        |
| <b>II 指定正味財産増減の部</b> |                    |                    |                  |
| 当期指定正味財産増減額          | 0                  | 0                  | 0                |
| 指定正味財産期首残高           | 0                  | 0                  | 0                |
| 指定正味財産期末残高           | 0                  | 0                  | 0                |
| <b>III 正味財産期末残高</b>  | <b>142,496,112</b> | <b>141,361,623</b> | <b>1,134,489</b> |

令和2年度（第9期）一般財団法人黄城教育会館予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目                 | 令和2年度予算            | 令和元年度予算            | 備 考             |
|---------------------|--------------------|--------------------|-----------------|
| <b>I 一般正味財産増減の部</b> |                    |                    |                 |
| 1. 経常増減の部           |                    |                    |                 |
| (1) 経常収益            |                    |                    |                 |
| 基本財産運用益             | 5,000              | 5,000              |                 |
| 基本財産受取利息            | 5,000              | 5,000              | 基本財産定期預金利息      |
| 事業収益                | 100,000            | 100,000            |                 |
| 会館使用料               | 100,000            | 100,000            | 光熱水費使用実費分       |
| 受取補助金等              | 6,000,000          | 15,000,000         |                 |
| 運営費補助収入             | 6,000,000          | 15,000,000         | 黄城会、小城高等学校教育振興会 |
| 雑収入                 | 6,000              | 6,000              |                 |
| 受取利息                | 1,000              | 1,000              | 預金利息            |
| 雑収入                 | 5,000              | 5,000              |                 |
| <b>経常収益計</b>        | <b>6,111,000</b>   | <b>15,111,000</b>  |                 |
| (2) 経常費用            |                    |                    |                 |
| 事業費                 | 1,440,000          | 1,440,000          |                 |
| 奨学助成費               | 1,440,000          | 1,440,000          | 小城高等学校奨学生(12名)  |
| 管理費                 | 8,830,000          | 17,455,000         |                 |
| 給料手当                | 2,500,000          | 2,400,000          | 職員2名分           |
| 法定福利費               | 30,000             | 25,000             | 雇用保険料           |
| 什器備品費               | 270,000            | 0                  | パソコン購入          |
| 消耗品費                | 195,000            | 195,000            | 文具代、コピーカウント料等   |
| 燃料費                 | 120,000            | 120,000            | ガス代、白灯油代        |
| 光熱水費                | 1,000,000          | 1,100,000          | 電気料、水道料         |
| 工事請負費               | 0                  | 8,300,000          | 空調設備更新その他       |
| 修繕費                 | 100,000            | 100,000            |                 |
| 通信運搬費               | 35,000             | 35,000             | 郵送料             |
| 手数料                 | 20,000             | 20,000             | 水質検査手数料         |
| 賃借料                 | 30,000             | 30,000             | 会館敷地使用料         |
| 委託費                 | 900,000            | 1,600,000          | 警備、電気保安、浄化槽管理等  |
| 登記料                 | 80,000             | 80,000             | 変更登記料           |
| 火災保険料               | 140,000            | 140,000            |                 |
| 減価償却費               | 3,400,000          | 3,300,000          |                 |
| 雑費                  | 10,000             | 10,000             |                 |
| <b>経常費用計</b>        | <b>10,270,000</b>  | <b>18,895,000</b>  |                 |
| <b>当期経常増減額</b>      | <b>△ 4,159,000</b> | <b>△ 3,784,000</b> |                 |

## ❀「会費」及び「会員寄付金」納入のお願い❀

黄城会の「会費」及び「会員寄付金」の納入について、下記によりご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会費につきましては、皆さまの払い込みの利便を図るため、『ゆうちょ銀行（郵便局）』に加え、『全国のコンビニエンスストア』からも払い込みいただけるようにいたしております。お一人でも多くの皆さまにご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

会費納入については機会あるごとにご協力をお願いしておりますが、なかなか納入が伸長せず黄城会の運営が危惧される状況になっておりましたので、平成27年度から会費とは別枠で会員寄付金のご協力をお願いして黄城会の事業を行うための経費に充てさせていただいております。

黄城会の目的である『会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与する』ための円滑な運営ができますよう、「会費」及び「会員寄付金」の納入について、会員の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、行き違いで、すでに今年度の会費及び会員寄付金を納入していただいた方に、納入のお願いが届きましたらご寛恕ください。

### 記

| 会費のご案内   | 会員寄付金のご案内  |
|--|--|
| ※終身会費納入済みの方、5年会費納入済みの方で5年経っていない方及び今年度に会費を納入されている方を除きます。  | ※今年度に会員寄付金を納入されている方を除きます。  |
| ①会費の区分<br>1年会費 2千円    5年会費 1万円    終身会費 5万円<br>②会費の振込金融機関<br>1年会費（2千円）は、最寄りの『ゆうちょ銀行（郵便局）又はコンビニ』から振り込みをお願いします。<br>5年会費（1万円）又は終身会費（5万円）を振り込んでいただけるときは、振込金額を訂正していただいたうえで『ゆうちょ銀行（郵便局）』から振り込みをお願いします。<br>※振込手数料は黄城会が負担します。<br>※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。<br>※『自動払い込み（口座振替）』にご協力いただける方には、手続きの書類を送らせていただきますのでご連絡ください。 | ①寄付の金額は任意でお願いしておりますので、ご寄付いただく金額をご記入のうえ、『ゆうちょ銀行（郵便局）』から振り込みをお願いします。<br>②ご寄付いただいた方にはお礼状をお届けするとともに、当年度の寄付者名を翌年発行する会報誌上に掲載し、お礼を申し上げます。<br>※振込手数料は黄城会が負担します。<br>※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。 |

### 「会費」及び「会員寄付金」の納入状況

#### 【会費】

|    | 平成29年度     | 平成30年度     | 令和元年度      |
|----|------------|------------|------------|
| 口数 | 1,439口     | 1,446口     | 1,277口     |
| 金額 | 3,886,000円 | 3,764,000円 | 3,690,000円 |

#### 【会員寄付金】

|    | 平成29年度     | 平成30年度     | 平成30年度     |
|----|------------|------------|------------|
| 口数 | 336口       | 347口       | 301口       |
| 金額 | 3,567,000円 | 2,912,000円 | 2,572,000円 |

『回期だより』回期だよりを作成された卒業回期の方に同封しています。ご高覧ください。

### 住所変更等の連絡のお願い

現住所を変更（改姓を含む）されたときは、黄城会事務局までご連絡をお願いします。その際には、卒業回期、旧姓もお知らせください。

『ゆうちょ銀行（郵便局）』から会費を振り込まれる方は、払込取扱票の通信欄をご利用ください。会員寄付金のみを振り込まれる方も同様をお願いします。

### 編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、令和2年度黄城会総会が中止となり、今回の会報には、総会冊子に掲載予定であった「青春回顧」を転載させていただきました。

また、5月2日に開催予定でしたが延期となっております高校創立記念事業、卒業生による講演会について、今年度中に開催された場合はホームページ等で講演内容をお伝えできればと思います。  
 （山崎）